

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	1	1	教育委員会費	2,678,000	2,611,022	296～297

**【教育総務課】**

定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を4回開催した。定例教育委員会のうち3回は、傍聴者に配慮して公民館等で3回開催した。(杉谷公民館1回、有明公民館1回、島原復興アリーナ1回)

**【議案審議の状況】**

区 分	教育委員会開催回数		議案原案可決
	定例会	臨時会	
件 数	12	4	72



<定例教育委員会>

款	項	目	目名	予算額（円）	決算額（円）	決算書の頁
10	1	2	事務局費	223,874,000	216,969,109	296～301

### 【学校教育課】

#### ○北村西望賞教育美術展 716 千円

名誉市民故北村西望氏を顕彰し、市内小・中学校児童生徒の美術教育振興に資するため、北村西望賞教育美術展（第35回目）を開催した。

- ・平面の部及び立体の部 出品数270点
- ・北村西望賞 6名
- ・奨励賞 18名

#### ○実践的防災教育総合支援事業 949 千円

防災に関する指導方法等の開発・普及、及び児童生徒が支援者としての視点から、安心・安全な街づくりへの貢献と災害弱者への支援に対する意識を高めるために実施した。

成果として、下記の事項があげられる。

- ・学校防災教育カリキュラムを作成し、教育課程との横断的取組の中で、自然災害に対しての「主体的に行動する態度」を育てることができた。
- ・地域や防災機関と小中学校が連携した避難訓練を実施できた。
- ・災害ボランティアの活動体験をすることによって社会貢献における意欲や実践力が高まった。

具体的実践事項

- ・災給食体験（非常食体験）・先進的実践校の視察（愛媛県西条市 2泊3日）
- ・先進的ボランティア活動団体の視察及び被災地での活動（岩手県釜石市 2泊3日）
- ・避難訓練マニュアル等作成研修会（市内全小、中学校の防災担当教職員）
- ・宿泊防災体験学習（9月27日（金）～28日（土））
- ・三会小児童・三会中生徒の防災学習を目的とした児童・生徒非常体験活動の実施
- ・防災ボランティアの経験者の講話学習
- ・成果発表会（公開避難訓練、公開授業等）



〈避難の様子〉



〈就寝の様子〉

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	1	3	外国語指導助手 招致等事業費	23,232,000	21,724,029	302～303

### 【学校教育課】

#### ○外国語指導助手招致事業 17,017千円

現代社会の国際化に対応できる児童・生徒の育成を目的に、外国語指導助手を招致し、中学校では週に2～3回、小学校では週に1回程度外国語指導助手との授業を実施した。小学校においては英語への興味・関心が高まり、中学校においては積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育った。

- ・外国語指導助手 4名

氏名	母国	任期
Benoit Forgues (ベノア フォルグ)	カナダ	2013.8.1～2014.3.31
Ashleigh Brown (アシュリー ブラウン)	ニュージーランド	2013.8.6～2014.8.5
Andrea Asai (アンドリア アサイ)	U. S. A.	2013.8.5～2014.8.4
Latashia Cooper (ラターシャ クーパー)	U. S. A.	2013.8.5～2014.8.4

#### ○中学生海外訪問交流事業 4,708千円

将来の島原市を担う心身ともにたくましい人材の育成を目指し、本市中学生に、夏季休業中を活用した海外の教育関係施設の見学及び現地中学生との交流活動を体験させ、国際的視野の拡大と国際親善に努める素地を培う。

- ・活動状況

期日	内容
6月18日(火)	第1回事前研修会
7月4日(木)	第2回事前研修会
7月17日(水)	第3回事前研修会
7月26日(金)	出発式
7月31日(水) ～8月4日(日)	シンガポール滞在 セントフランシス・メソジスト・スクールとの交流 キックマンシンガポール工場見学及び職業講話 在シンガポール日本国大使館訪問 在シンガポールジャパンクリエイティブセンター訪問 セントーサ島見学、オーチャードロード自由散策、 ナイトサファリ
8月27日(火)	報告会

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	1	4	不登校児童生徒 適応指導等事業費	2,362,000	2,046,330	302~303

**【学校教育課】**

**○不登校児童生徒適応指導事業 2,047千円**

心理的又は情緒的理由により登校できない状況にある児童生徒に対し、個別や小集団での相談・指導を行いながら、学校への復帰を目指し、集団生活に適応する力を育てる。

・心理的又は情緒的理由により、登校できない状態にある児童生徒に対して、学校への復帰や適応指導教室での学習の援助を行った。

・適応指導教室「ひまわり教室」 島原市北門町130番地

相談員数 2名

開室日 毎週月曜日から金曜日までの週5日

開室時間 午前9時30分～午後3時30分

活動内容 ①児童生徒に対する支援 ②保護者への支援 ③在籍校への支援

・平成25年度小中別不登校児童生徒数 (単位：人)

区 分		男子	女子	計
不登校児童生徒	小学校	3	4	7
	中学校	11	14	25
計		14	18	32
ひまわり教室通級者数	小学校	1	1	2
	中学校	4	2	6
計		5	3	8

・不登校児童生徒数の推移

区 分		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
小学校	人数(人)	3	4	4	4	7
	出現率(%)	0.12	0.15	0.15	0.15	0.28
中学校	人数(人)	18	24	24	15	25
	出現率(%)	1.14	1.65	1.69	1.06	1.78
人数計(人)		21	21	28	19	32

(不登校とは、外傷病気等ではなく年間30日以上欠席があったもの)

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	2	1	学校管理費	131,553,000	128,208,731	304~307

**【教育総務課】**

**○各種施設管理委託料 14,640 千円**

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全の確保に努めた。

**○学校管理備品購入費 6,269 千円**

児童用机・イスほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品目	学校名	金額 (円)
児童用机・イス	三小・高野小	1,827,000
その他の机・イス類	二小・三会小・高野小 ・湯江小	850,600
パソコン	四小・三会小・高野小 ・湯江小	572,251
教室用戸棚	一小	1,010,100
配膳台	三会小	138,600
空気清浄機	三会小・大三東小	212,625
ストーブ	二小・三会小	112,875
聴力検査器	五小	115,500
紅白幕	高野小	101,640
その他	—	1,327,701

**○育友会補助金 2,129 千円**

各小学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

21,500円×11月×9校=2,128,500円

**○校庭芝生化事業 650 千円**

- ・事業目的 児童の健全な育成と地域密着の交流拠点として学校校庭の芝生化を造成する。小学校よりモデル校を選定して、地元住民が主体となって校庭の低コスト・低管理のエコ芝生化に取り組んだ。
- ・実施小学校 第四小学校
- ・活動場所 第四小学校運動場
- ・活動内容 ポット苗作り（1日）、ポット苗移植（1日）施肥、芝刈、水やり（適宜）



ポット苗移植作業の状況



全体に生え揃った状況

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	2	2	教育振興費	119,005,000	114,130,945	306~311

**【教育総務課】**

**○備品購入費（小学校教育用コンピュータ） 49,581 千円**

児童がコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段に慣れ親しみ、コンピュータで文字を入力するなどの基本的な操作や情報モラルを身に付け、また、必要な情報を主体的に収集・判断・処理・編集・創造・表現・発信・伝達できる情報活用能力を育むために、環境整備の推進（継続）を図り、快適な環境で学習ができることを目指し、平成4年度からパソコン教室を開設している。

昨年の中学校に引き続き、平成17年度からリース方式により導入している小学校5校のパソコン教室等における教育用コンピュータ及びソフトの更新を行い情報システムの最適化を図った。

整備内容

単位：台（式）

	一小	二小	三小	四小	五小
サーバー	2	2	2	2	2
教師用パソコン	1	1	1	1	1
児童用パソコン	40	40	40	40	40
プリンター	1	1	1	1	1
プロジェクター	1	1	1	1	1
授業支援ソフト	41	41	41	41	41
各種支援ソフト	41	41	41	41	41

**○備品購入費（小学校校務用コンピュータ） 1,388 千円**

授業資料の作成や成績管理のための校務用（教諭用）コンピュータの整備を行った。

整備台数 15台

**○教育振興備品購入費 554 千円**

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額 (円)
卓球台	一小	210,000
楽器	五小	344,400

**○備品購入費（理科教育設備整備） 5,424 千円**

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：地球儀、顕微鏡、人体模型等

## 【学校教育課】

### ○野外宿泊学習事業（小学校） 666 千円

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団登校を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施小学校 全9校
- ・活動場所 長崎県立千々石少年自然の家 一小、三小  
国立諫早少年自然の家 二小、四小、五小、三会小、大三東小、高野小、湯江小
- ・日 程 1泊2日 一小、三小、大三東小、高野小、湯江小  
2泊3日 二小、四小、五小、三会小、
- ・活動内容 ナイトハイキング、オリエンテーリング、野外炊飯、焼き板づくり、  
課題解決ラリー、沢歩き、フィールドアスレチック、追跡ハイキング、  
星空ウォッチング等

### ○学校司書配置事業（小学校） 5,795 千円

学校図書館の環境整備の充実や、児童の読書活動の推進を図るために全小学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各小学校に学校司書を1名配置（計9名）
- ・1日6時間の週3日配置

### ○特別支援教育支援事業 5,513 千円

小学校においては、普通学級に在籍している児童のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある児童に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある児童の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・各小学校に支援員を1名配置（計9名）
- ・1日5時間の週5日配置

### ○外国語活動支援員事業 947 千円

市内全小学校の5・6年児童に外国語活動の授業の充実を図るために、学級担任とALTがチームを組んで授業を行っていくが、ALTが配置できない学級へ外国語活動支援員を配置し学級担任とチームを組んで外国語活動の充実を図った。

- ・1日6時間の週5日配置（年200日を超えない）

### ○幼児ことばの教室設置事業 822 千円

言葉に障害のある幼児の心身の健やかな成長をめざすため、指導及び相談を行い、障害の改善及び克服を行った。

- ・第二小学校に支援員を1名配置
- ・概ね週4日かつ半日を基本とし相談業務及び学校の実態に応じた業務を行う。



**○指定研究校補助金 705 千円**

毎年、小学校の4～5校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の課題や実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って学校単位で3年間研究に取り組むことをとおして教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって、成果を上げることができた。

平成25年度小学校研究指定校（3校）

学校名	研究テーマ	備考
第一小学校	「確かな学力を身に付け生き抜く力を持つ子どもの育成」(算数科)	25～27年度 1年目
第五小学校	「自ら学びを高める子どもの育成」(国語科)	24～26年度 2年目
三会小学校	「確かな読み取りをもとに考え、表現する児童の育成」(国語科)	23～25年度 3年目

**【教育総務課】**

**○就学援助費 6,844 千円**

経済的理由により就学困難な児童の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

- ・学用品費 364件 5,237千円
- ・社会科見学活動費 60件 101千円
- ・校外活動費 55件 149千円
- ・修学旅行費 83件 1,357千円

準要保護状況

		25年度	24年度
認定者数	小学校	337人	355人
	中学校	264人	263人
	計	601人	618人
認定率	小学校	13.74%	14.15%
	中学校	18.88%	18.51%
	計	15.61%	15.73%

(小中学校合計額)

品目	金額(千円)	一人当たり (円/年)
学用品費	12,953	21,061
社会科見学活動費	101	1,691
校外活動費	290	2,357
修学旅行費	6,423	32,769
医療費	1,113	5,855
学校給食費	27,192	44,504
計	48,072	—

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	2	3	学校整備費	38,500,000	37,889,988	310～313

**【教育総務課】**

緊急度を考え計画的に小学校施設の整備充実に努めた。

工事請負費内容

学校名	工事名称	金額 (円)
第一小学校	プール水槽改修工事	7,560,000
	旧校舎雨漏改修工事	2,835,000
第二小学校	全校舎廊下クリーニング工事	1,060,500
第四小学校	パラペット洗浄塗装工事	1,050,000
第五小学校	放送室スタジオ床張替工事	546,000
三会小学校	旧校舎手洗場改修工事	2,400,300
大三東小学校	特別教室入口扉取替工事	913,500
	保健室他カーテン取替工事	997,500
第五小学校	給食室屋上防水改修工事	3,075,450

市内学校施設の耐震補強工事は平成24年度をもって完了しているが、さらに体育館天井部材の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震対策の取組が必要なため、平成25年度で平成26年度工事予定の体育館4校（五小、三会小、大三東小、湯江小）の実施設計を行った。

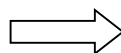
耐震改修状況

区 分		小学校	中学校	計	県内	全国(H25)
耐震診断実施率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%
耐震化率	24年度	100.0%	100.0%	100.0%	83.0%	88.9%
	25年度	100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	92.5%

< 第一小学校 プール水槽改修工事 >



(完成前)



(完成後)

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	3	1	学校管理費	85,686,000	81,798,649	314~317

**【教育総務課】**

**○各種施設管理委託料 7,614 千円**

校舎監視業務委託をはじめ、各種法定管理委託業務等により、施設の維持管理と安全に努めた。

**○学校管理備品購入費 2,924 千円**

図書室本棚ほか器具整備に努め、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額 (円)
整理棚	二中	105,000
会議用テーブル	三中	210,000
折畳みテーブル	有明中	220,500
パイプ椅子	一中	420,000
家庭科室椅子	三会中	315,000
パソコン	一中・三中・三会中	391,650
聴力検査器	有明中	105,000
屋外時計	二中	120,750
その他	—	1,035,545

**○育友会補助金 1,183 千円**

各中学校育友会、PTAに対し補助金を交付した。

$$21,500 \text{円} \times 11 \text{月} \times 5 \text{校} = 1,182,500 \text{円}$$

款	項	目	目名	予算額(円)	決算額(円)	決算書の頁
10	3	2	教育振興費	55,722,000	51,337,922	316~319

**【教育総務課】**

**○備品購入費（中学校校務用コンピュータ） 648 千円**

授業資料の作成や成績管理のための校務用（教諭用）コンピュータの整備を行った。  
整備台数 7台

**○教育振興備品購入費 1,698 千円**

教育振興のための機械器具を整備し、学校教育のよりよい環境づくりに努めた。

備品購入費内訳

品名	学校名	金額(円)
サッカーゴール	二中	360,150
楽器	一中・二中・三会中	868,350
バッティングゲージ	有明中	430,500
バッティングネット	有明中	38,850

**○備品購入費（理科教育設備整備） 3,119 千円**

科学的な知識等の習得、工夫創造の能力を養うため、理科教育の機械器具を整備した。

購入備品：顕微鏡、天体望遠鏡、てんびん(計量器)等

**【学校教育課】**

**○野外宿泊学習事業 736 千円**

自然に親しませ、豊かな社会性と心身の訓練を培うため実施した。

集団登校を通して友情を深め、寝食を共にすることで、規律・協力・連帯等の望ましい在り方を学ばせる好機となった。

- ・実施中学校 全5校
- ・活動場所 県立千々石少年自然の家 一中、二中、三中、三会中、有明中
- ・日 程 1泊2日
- ・活動内容 星空ウォッチング、キャンプファイヤー、野外炊飯 等

**○学校司書配置事業（中学校） 3,217 千円**

学校図書館の環境整備の充実や、生徒の読書活動の推進を図るために全中学校に学校司書を配置した。その結果、貸し出し冊数や入室者数、レファレンス（図書・資料の紹介・提供）数が増える等、図書館教育の充実を図ることができた。

- ・各中学校に学校司書を1名配置（計5名）
- ・1日6時間の週3日配置

### ○特別支援教育支援事業 3,021 千円

中学校において、普通学級に在籍している生徒のうち、教育上特別な支援を必要とする障害のある生徒に対して、学校生活上の介助や学習活動上の支援を行った。その結果、発達障害を含む障害のある生徒の一人一人の教育的ニーズに応じた支援を行うことができた。

- ・各中学校に支援員を1名配置（計5名）
- ・1日5時間の週5日配置

### ○中高教育交流事業 48 千円

「<sup>いのち</sup>生命」の教育の施策の一つとして、三会中学校と島原農業高校との交流事業を実施した。豚の受精・誕生、飼育、と殺・試食までを年間9回の授業を実施し、年間を通じて貴重な体験活動が展開され、本市教育の基盤である『生命・きずな・感謝の心』の具現化を図ることができた。

連携校 島原市立三会中学校 県立島原農業高等学校

対象学年・生徒数 1年生 51名

期 日	授業内容	場 所
5月31日（金）	オリエンテーション、学習のねらいと計画	三会中学校
6月 5日（水）	豚舎見学、豚との対面、虚勢の実演見学	三会中学校
6月12日（水）	講義「豚の飼育について」	三会中学校
6月26日（水）	豚の特徴や飼育についての調べ学習	三会中学校
6月28日（金）	小屋の設置、飼育方法について	三会中学校
8月 9日（金）	豚の体重測定	三会中学校
10月17日（木）	豚とのお別れ	島原農業高等学校
10月31日（木）	三會中発表会にて校内発表 豚を食肉へ加工（専門業者へ依頼）	三会中学校 業者
11月15日（金）	豚肉を用いた調理及び試食	三会中学校
11月22日（金）		

### ○心の教室相談事業 3,184 千円

学校において、生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることのできる第三的な存在である「心の相談員」を生徒の身近に配置し、生徒や保護者の悩みを聞くなどの相談活動を実施し、生徒がゆとりを持てるような環境を提供した。

（相談員の職務）

- ・生徒の悩み相談や話し相手、家庭訪問等を実施し、学校における教育相談を行う。
- ・地域における情報収集、地域と学校の連携及び支援を行う。
- ・その他、学校教育活動の支援を行う。

(心の教室相談員 配置数)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
配置数	各中学校に1名	各中学校に1名	各中学校に1名

(相談者の数)

	1年		2年		3年		合計	
性別計	男 117	女 94	男 77	女 269	男 93	女 152	男 287	女 515
計	211		346		245		802	

(心の教室相談員等連絡協議会開催回数)

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度
開催回数	4	4	3

### ○指定研究校補助金 705 千円

毎年、中学校の2～3校程度を研究校に指定している。指定を受けた学校は、自校の実情に応じた研究テーマを設定し、最終年度に研究成果を発表している。

- ・1つのテーマに沿って3年間学校単位で研究に取り組むことで教師の指導力や授業力の向上を図ることができた。
- ・学校訪問や研究授業における指導助言等と相まって成果を上げることができた。

平成25年度中学校研究指定校（3校）

学校名	研究テーマ	備考
第一中学校	「確かな学力」を身につけた生徒の育成	24～26年度 2年目
第二中学校	将来の夢や志の実現に向けて、自己を高め、努力し、自立できる生徒の育成を目指して	25～27年度 1年目
第三中学校	確かな学力と道徳的実践力を高める学習活動の創造	23～25年度 3年目

### 【教育総務課】

#### ○就学援助費 12,923 千円

経済的理由により就学困難な生徒の保護者に対して、学用品費等の援助を行った。

- ・学用品費 269件 7,716千円
- ・校外活動費 68件 141千円
- ・修学旅行費 113件 5,066千円

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	3	3	学校整備費	21,800,000	21,319,431	318~321

**【教育総務課】**

緊急度を考慮し計画的に中学校施設の整備充実に努めた。

工事請負費内容

学校名	工事名称	金額 (円)
第一中学校	体育館倉庫増設工事	4,663,050
	屋上貯水槽取替工事	4,252,500
三会中学校	体育館西側出入口扉取替工事	1,274,700

市内学校施設の耐震補強工事は平成24年度をもって完了しているが、さらに体育館天井部材の落下防止対策等をはじめとした非構造部材の耐震対策の取組が必要なため、平成25年度で平成26年度工事予定の体育館3校（二中、三中、三会中）の実施設計を行った。

耐震改修状況

区 分		小学校	中学校	計	県内	全国(H25)
耐震診断実施率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.6%
耐震化率	24年度	100.0%	100.0%	100.0%	83.0%	88.9%
	25年度	100.0%	100.0%	100.0%	87.9%	92.5%

<第一中学校 屋上貯水槽取替工事>



款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	4	1	社会教育総務費	81,754,000	74,374,108	320～327

**【社会教育課】**

**○社会教育指導研修経費 5,167 千円**

社会教育を推進するため、社会教育委員会の開催、各種研修会への参加、社会教育団体の育成等を行った。

**○文化財経費 15,011 千円**

新規の文化財登録や国指定史跡「旧島原藩薬園跡」の管理、松平文庫の公開・修復・マイクロフィルム化等を行った。

- ・ 文化財数 国指定 2 国登録 14 (+1) 県指定 10 市指定 76
- ・ 松平文庫 来庫者数 333名  
マイクロ撮影数 215冊(14, 762コマ)
- ・ 薬草園 入場者 2,870名



小早川邸 (国登録)

**○少年センター運営経費 5,306 千円**

少年犯罪・非行等の未然防止のために、早期発見・早期補導活動並びに地域ぐるみ活動を推進した。



<島原市少年センター補導委員会>



### ○公民館学級運営費

市民の需要に応じた各種講座・学級を開設した。

- ・ 三会公民館学級運営費 282千円
- ・ 杉谷公民館学級運営費 476千円
- ・ 森岳公民館学級運営費 406千円
- ・ 霊丘公民館学級運営費 448千円
- ・ 白山公民館学級運営費 420千円
- ・ 安中公民館学級運営費 280千円
- ・ 有明公民館学級運営費 490千円

#### ・ 25年度学級実績

学級名	学級数	実施回数	参加人員（延べ）
青年教室	2学級	7回	76人
女性学級	10学級	90回	1,986人
家庭教育学級	7学級	59回	7,986人
高齢者学級	7学級	63回	2,223人

### ○放課後子ども教室推進事業経費 122千円

第一小学校において、「稽古館」を開設し、古典学習等を行った。

参加者数 毎週火曜日 平均11人

武家屋敷・山本邸において、小2以下を対象とした「寺子屋・武家屋敷」を開設し、論語の素読や暗誦などを行った。

参加者数 毎週月曜日 平均9人



寺子屋・武家屋敷

### ○通学合宿支援事業経費 237千円

子供たちにたくましく生きる力を育むため、小学校区の単位子ども会の3年生から6年生を対象として、3泊4日の通学合宿を公民館で実施した。

- ・ 実施回数 8回
- ・ 参加者数 166人

### ○地域・家庭教育力活性化推進事業経費 544 千円

「子育てひろば」において中桐万里子氏の講演会を実施した。また、土曜日に「アニマルキッズ」において動物とのふれあい体験を行った。また、中学校区ごとに「思春期子育て講座」を実施した。

・ 子育てひろば	開催数	1 回	参加者	3 0 0 人（7 地区合同開催）
・ アニマルキッズ	開催数	4 回	参加者	2 2 人
・ 思春期子育て講座	開催数	5 回	参加者	3 4 2 人

### ○成人式経費 659 千円

新成人の門出を祝い、成人式を開催した。成人式の日程は、例年成人の日の前日に行っていたが、アンケートの結果を受け、1 月 3 日に変更して実施したところ、参加者の減少をおさえることができた。

- ・ 出席者 4 6 5 人

### ○文化財等保存整備事業経費 5, 800 千円

開発行為対応のための埋蔵文化財発掘調査等の事業を行った。

- ・ 埋蔵文化財発掘調査 3 遺跡
- ・ 薬園出土品保存処理
- ・ 島原城石垣台帳作成（3 カ年計画の 2 年目）

島原城の石垣について、崩落の恐れがある石垣を事前に把握し補修の参考とすると共に、国・県史跡指定にあたっての基礎資料とするため、現況調査し台帳を作成するもの。

1 2 3 ヶ所の石垣の破損状況、積直し状況を記録し、関連する 2 3 枚の絵図のデジタル撮影及び画像編集を行った。



石垣カルテ事業で確認された積直しライン（青線）

### ○社会教育総務費 2, 854 千円

社会教育を推進するため、2 名の社会教育指導員を委嘱し、高齢者学級および女性学級の指導を行った。

### ○伝統的建造物群選定事業費 24 千円

鉄砲町の伝統的建造物群保存の参考に、他県の選定地区での研修を行った。

**○旧島原藩薬園跡整備事業費 1,330 千円**

園内の植栽を一部変更した。島原農業高校との連携により、管理、周知イベントを行った。



イベントの様様

**○森岳城跡（島原城）埋蔵文化財発掘調査事業 34,198 千円**

**（うち緊急雇用創出事業費分 29,810 千円）**

森岳城跡の崩落石垣復旧工事に伴う埋蔵文化財の発掘調査を実施し、調査結果を石垣復旧工事に反映させ、歴史的な石垣の復旧を行うことを目的として実施。緊急雇用創出事業により 16 名の作業員を雇用した。

復旧工事と並行して調査を行い、石積工事の際に立ち会いを行い、工期内の工事の終了ができた。発掘調査で石垣背面から全国で初めてとなる石列状遺構を確認し、石材の形状や栗石の状態が石積工事の工法に反映された。

また、発掘調査の現地説明会を行い 100 人あまりの市民に石列状遺構や石垣の構造の説明を行った。



石列状遺構



現地説明会

款	項	目	目名	予算額(円)	決算額(円)	決算書の頁
10	4	2	公民館費	106,841,000	103,698,707	326~331

**【社会教育課】**

**○公民館運営費 16,848千円**

公民館の施設・設備等の保守・管理を行い、利用のしやすい環境づくりを行った。

平成25年度公民館利用状況(平成25年4月~平成26年3月)

	公民館行事		各種団体		趣味・サークル		官公署その他		回数 合計	人数 合計
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員		
有明	112	9,639	490	7,316	1,277	8,669	169	6,046	2,048	31,670
三会	53	6,162	316	5,683	447	3,718	169	5,621	985	21,184
杉谷	102	4,024	248	5,017	860	10,022	298	10,127	1,508	29,190
森岳	123	5,321	786	15,616	1,173	10,735	624	16,346	2,706	48,018
霊丘	85	2,974	394	8,012	1,098	12,075	364	7,663	1,941	30,724
白山	98	2,573	223	7,070	1,400	16,696	144	6,410	1,865	32,749
安中	151	3,499	177	7,084	495	4,690	215	7,395	1,038	22,668
計	724	34,192	2,634	55,798	6,750	66,605	1,983	59,608	12,091	216,203

主な施設整備

- ・エアコン4台購入(霊丘公民館) 1,320千円
- ・有明体育館横通路拡張工事(有明公民館裏駐車場への通路) 630千円
- ・畳表替え(霊丘・安中公民館) 558千円
- ・電気陶芸窯修繕(有明公民館) 532千円
- ・階段手摺修繕(霊丘公民館) 420千円

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	4	3	東京学生寮費	15,893,000	13,158,041	330～333

**【教育総務課】**

東京都内及び東京周辺の大学等に在学する学生の修学支援を行ってきたが、平成25年度において、平成26年3月末までの廃止の方針とすることとした。

**【入寮者数】**

	22年度	23年度	24年度	25年度
男	10(0)	10(4)	10(4)	10(2)
女	6(2)	8(3)	7(0)	10(5)
計	16(2)	18(7)	17(4)	20(7)

※( )内は新規入寮者数



<東京学生寮外観>



<東京学生寮内部>

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	4	4	図書館運営費	67,520,000	67,518,876	332~333

**【社会教育課】**

**○図書館運営経費 67,519千円**

島原図書館、有明図書館は、指定管理者として一般財団法人 島原市教育文化振興事業団へ管理運営を委託している。

・島原図書館

開館日数	291日	登録者数	48,204人
利用者数	35,385人	貸出冊数	161,210冊
蔵書数	117,182冊	視聴覚資料	4,442点

自主事業

おはなしひろば、おはなしのじかん、おはなしのじかん0. 1. 2、郷土史を学ぼう会、映画会、七夕まつり、夏休み工作教室、夏休み科学教室、図書館まつり、クリスマスおはなし会、手作り講座（布の絵本づくり、こけ玉作り、クリスマスリース作り等）、読書感想画展

・有明図書館

開館日数	288日	登録者数	48,204人
利用者数	15,963人	貸出冊数	78,420冊
蔵書数	72,793冊	視聴覚資料	1,218点

自主事業

ちいさなおはなし会、おはなしのじかん、こんねクイズ、夏休み工作教室、夏休み映画会、図書館まつり、子ども向け講座「えいごであそぼう」大人向け講座「かご作り」

・一般財団法人 島原市教育文化振興事業団への補助金・委託料・指定管理料一覧表

種別	事業	金額
補助金	事務局	16,109,000円
委託料	学校給食	110,075,000円
指定管理料	図書館	55,718,000円
	島原文化会館	38,497,000円
	体育館・弓道場	41,018,000円
	陸上競技場	11,474,000円
	復興アリーナ	42,270,000円
	有明文化会館	28,650,000円
合計		343,811,000円

款	項	目	目名	予算額（円）	決算額（円）	決算書の頁
10	5	1	保健体育総務費	45,321,000	42,464,404	332～337

**【学校教育課】**

**○学校体育の質的向上と部活動の充実費 1,973 千円**

本市児童・生徒の体力向上と国民体育大会（長崎がんばらんば国体）に向け、競技力向上（特にジュニア層）を図るため、教員の質向上と優秀指導者の確保および体育環境の充実を図るものである。

- ・部活動消耗器材費 13 千円
- ・部活動運営費補助金 1,960 千円

**○児童・生徒及び教職員の各種健康診断の実施 4,951 千円**

島原市立小・中学校における児童生徒及び職員の健康の保持増進を図るため、学校保健安全法に則り、児童生徒及び教職員の各種健康診断に実施するものである。

- ・児童・生徒検診（心臓、蟻虫、尿、小児成人病予防） 3,084 千円
- ・教職員検診（胃、結核、血液、心電図、聴力、腎臓、尿） 1,857 千円

**○有馬スポーツ賞 273 千円（団体7、個人15、副賞83）**

- ・有馬スポーツ賞授賞状況

小学校		中学校		合計	
個人	団体	個人	団体	個人	団体
6人	5団体	9人	2団体	15人	7団体



〈受賞の様子〉

**【教育総務課】**

**○就学援助費**

**児童生徒医療費 1,113 千円**

経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、医療費の援助を行った。

- ・医療費援助（小学生） 133件 794千円
- ・医療費援助（中学生） 57件 319千円

款	項	目	目名	予算額 (円)	決算額 (円)	決算書の頁
10	5	2	学校給食費	194,620,000	189,155,864	336~339

**【学校教育課】**

**○学校給食経費 148,160千円**

児童・生徒の心身の健全な発達に資し、学校給食の充実を図る。

- ・学校給食の充実を図るため、研修会等を行った。

研修会等名	内容	対象
学校給食献立案作成会 (毎月)	献立原案について協議	栄養教諭、学校栄養職員
学校給食研究会 (隔月)	食育の取組状況、献立の兼用、学校給食実施上の諸問題	給食会長、栄養教諭・学校栄養職員、給食主任

- ・安全及び衛生管理の徹底を図った。

項目	内容	実施回数
学校給食施設・設備の点検	学校薬剤師と連携し、給食施設及び設備の点検	年3回 (各学期毎)
学校給食施設消毒施工	ねずみ及び衛生害虫の侵入及び発生の防止	年3回
学校給食用食材の定期点検	食材の点検及び殺菌検査	年2回 (6納入業者)
学校給食従事者の健康管理	細菌等についての検便実施	毎月2回

- ・完全給食実施状況

名称	第二小調理場	第三小調理場	共同調理場	第五小調理場	有明学校給食センター
調理数	二小 281 一中 437	三小 352 二中 317	一小 474 四小 223 三会小 271 長貫分校 13 三会中 169	五小 400 三中 225	大三東小273 高野小 105 湯江小 312 有明中 378
合計	718	669	1,150	625	1,068
主食回数	米飯給食 週3回、パン給食 週2回				



**【教育総務課】**

**○就学援助費**

**児童生徒学校給食費 27,192 千円**

経済的理由により就学困難な児童及び生徒の保護者に対して、学校給食費の援助を行った。

- ・学校給食費援助（小学生） 344人 14,321千円
- ・学校給食費援助（中学生） 267人 12,871千円



<共同調理場>



<有明学校給食センター>